

# 創造と行動で業務改善

## 鶴岡 各職場の取り組みを発表し意見交換

「私のかいぜん発表会」が9日、鶴岡市のマリカ市民ホールで開かれ、地元企業・事業所の社員、従業員たちがそれぞれの職場で取り組んだ業務改善について発表した。

事業所などで取り組んでいる改善活動を分かりやすく紹介するとともに、情報交換、交流の場を持つと

地元の製造業を中心とした企業の有志が実行委員会をつくり2008年から毎年、庄内地域産業振興センターと共に開催。12回目の今回は約300人が参加した。

発表会では▽協同電子工業▽プレステージ・インターナショナル▽庄内クリエート工業▽庄内余目病院▽グローバルマシーン▽みつ



このうち鶴岡市宝田二丁各職場で取り組む業務改善と成果を紹介した発表者

目の協同電子工業のグループは、未経験の加工作業を含む新規案件の受注獲得までに実施した改善活動を発表した。グループで話し合い現行プロセスの解析、工程改善検討、加工治具開発、試作検証と段階を踏み、重複作業をまとめて工程を削減するなどし、コスト削減とリードタイム短縮を実現した内容を説明。こうした経験を基に「今後は、量産までの新規案件立ち上げ期間をさらに短縮したい」と締めくくった。

発表会に先立ち、鶴岡高

専の高橋幸司校長が「経営を科学する」のテーマで講演。自社や自分たちの強みである「コアコンピタンス」を認識した上で、「気付き」と「刺激」を得る「創造するための行動」を行うことの重要性を指摘し、「改善のないところに革新はなく、改善活動は創造活動だ。情報だけに頼らず現場での直感力を鍛えることが大切。どんなに最新のロボットでも時間とともに価値は下がるが、人間は価値を生み出し続ける」と語った。発表会後は交流会で、発表者や

参加者たちが業務改善について意見や情報を交換した。